

国語科 古典B

学年	第 3 学 年	単 位 数	文系 3単位 ・ 理系 2単位
使用教材	教科書	高等学校 古典B 標準古典B (第一学習社)	
	副教材	国語便覧 (第一学習社)・古典文法 (第一学習社)・学習課題集 (第一学習社)	
【到達目標】 1 学年及び2 学年で培われた文法能力や読解能力を基礎として、古典 (古文・漢文) の分野を学習し、作品の中の登場人物の行動や心理、生き方を読み取る。また作者の心情に触れ、言語そのものや言語によって形成された伝統文化に対する関心を深める。			

学習方法

- ・ 古典学習の基本である音読を大切にする。
- ・ 国語便覧や辞書、文法のテキストを活用して、古典の基礎知識、古語の意味や古典文法を身につける。
- ・ 辞書を利用して、本文の現代語訳をして文脈を把握する。

評価について

【評価の基本方針】 ○関心・意欲・態度 (理解・表現) ○読む能力 ○知識・理解 (文や文章の組み立て・語句・語彙・表記・漢字の読み・文法・作者・作品・時代背景等) 以上の観点から評価を行い、学期ごとに5段階の評定に総括する。 その際、定期考査、授業態度等の学習の取り組み状況、古典文法の理解、ノート・課題集やその他の課題提出状況等を加味して、総合的に判断し、評価する。	
定期考査	教科書や課題プリント等、授業で扱った内容を中心に出題する。
授業ノート	本文の書写、語句の意味調べ、現代語訳、授業内容等を各自で工夫して作成する。

家庭学習について

- (1) 予習・・・本文の音読と書写、語句の調べを行う。
- (2) 復習・・・授業で学んだ内容について振り返る。ノートの整理や作品についての感想文を書くなど、単元全体を振り返る。

年間学習計画表

学期	月	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
前期	4	古文編第Ⅱ章 説話 『宇治拾遺物語』 「亀を買ひて放つ事」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・和歌を含む説話を読むことにより、和歌に関する当時の価値観について考える。 	【学習活動の観察】 関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解 【古典文法】 【課題・ノート】 (年間を通して)
	5	漢文編第Ⅱ章 逸話 劉向『新序』 「楚恵王吞む蛭」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い文章を読んで、訓読をして、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉え、書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味とについて理解する。 ・筆者のものの見方や考え方を理解する。 	
	6	古文編第Ⅱ章 物語(一) 『大和物語』 「姨捨」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 	【第1回定期考査】
	7	漢文編第Ⅱ章 名家の文章 韓愈「猫相乳」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を朗読して、漢文独特の簡潔な表現を味わう。 ・音読することによって、訓読のリズムをつかむ ・文章の表現、構成の巧みさを理解する。 	【第2回定期考査】
	9	古文編第Ⅱ章 日記 紫式部『紫式部日記』 「日本紀の御局」 藤原道綱母『蜻蛉日記』 「泔杯の水」	<ul style="list-style-type: none"> ・日記文学の世界を味わう。 ・物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。 ・当時の結婚形態を理解して、作品の読解を深める 	
			漢文編第Ⅱ章 古体の詩 「子衿」(『詩経』) 曹植「七歩詩」 陶潜「雑詩」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のさまざまな描写に接し、近体詩を意識しながら、古体詩を味わう。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・漢詩のリズムを意識しながら、音読できる。
後期	10	古文編第Ⅱ章 物語(二) 紫式部『源氏物語』 「光る君誕生」	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語の冒頭部における人間関係を把握する ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や付属語の知識を確認する。 	【第3回定期考査】
	11			
	12	漢文編第Ⅱ章 三国志の世界 『十八史略』 「水魚之交」 「死諸葛走生仲達」	<ul style="list-style-type: none"> ・史伝を読んで、話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・本文を訓点に従って読み書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味とについて理解する。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 	
1	古文編第Ⅱ章 評論 『無名草子』 「清少納言」「紫式部」	<ul style="list-style-type: none"> ・『枕草子』『源氏物語』との関連として、その作者の人物像を読み取り、批評の目のあり方を考えさせる。 	【3学年末考査】	

(注) 教科書の目次順とは異なることがあります。詳細は随時教科担当の説明をよく聞いてください。